

輝北コミュニティセンターだより

令和7年度
10月号

鹿屋市輝北町上百引 2635 番地
電話 099-486-0505 FAX099-486-0295

令和7年10月15日発行

手話に初挑戦

9月16日(火)に輝北チャレンジ大学9月講座で「初心者の手話」を開催しました。講師として市内で活動している、「鹿屋手話サークルやまびこ(代表 崎田典子さん他6名)」の方が来館してくださいました。

講座では、耳の不自由な人とのコミュニケーション方法、手話での基本的な挨拶・よく使う言葉、手話歴史や成り立ちについて学習しました。

また、休憩時間にはサークルの方々と談笑しながら交流も深めました。



市民講座の募集周知について

例年3月に発行している「生涯学習のすすめ(市民講座生募集案内)」は、令和8年度募集より町内会回覧による全戸配布ではなく、鹿屋市ホームページ内にて講座の確認となります。募集のお知らせ、申込方法等の告知につきましては、広報かのに掲載することになりますので、お見逃しのないようよろしくお願いします。

講座の募集が近くなりましたら、再度輝北コミュニティセンターだよりでもご案内します。



星のふるさと輝北まつり 2025 (兼生涯学習フェスタ) 開催

「星のふるさと輝北まつり 2025」が11月9日(日)9:00~15:30 輝北運動場・輝北コミュニティセンターを会場として開催されます。輝北運動場では、メインテントでのステージ発表・ブーステントでの物品販売等が行われます。一方、輝北コミュニティセンターでは市民講座生・学習グループ・輝北町文化協会会員の作品展示等を行います。なお作品展示期間は祭り当日から11月13日(木)まで実施しますので、是非ご覧ください。



輝北まつり展示に関するお問い合わせ
輝北コミュニティセンター
電話 099-486-0505

ドローン操縦を体験

9月5日（金）に「初めてのドローン入門」の受講生が、ドローンの操縦を体験しました。講師指導の下、離陸前に周囲の安全確認を実施、四角に配置したパイロンを目標にして実技を行いました。当初はコントローラーの扱いに慣れない様子でしたが、交代で実施するうちに受講生同士で教え合いながら、徐々に感覚を掴んで初飛行体験を終えました。



輝北歴史民俗資料館展示品紹介（B29の機銃）

B29とは、太平洋戦争中に日本を襲った米国（アメリカ合衆国）軍の大型爆撃機のことですが、このB29の機銃が輝北歴史民俗資料館に展示されていることを、皆さんはご存じでしょうか。それにしてもなぜ輝北町にあるのでしょうか。

昭和20年4月29日、日本軍の戦闘機「雷電」が輝北町（当時の百引村）上空でB29を撃墜し、機体が唐鎌（現諏訪集落）の畑へ墜落するという事件が起きました。輝北歴史民俗資料館にB29の史料が僅かながらも在るのはその理由からです。

その機体に付いていた機銃を、海上自衛隊鹿屋航空基地に保管していましたが、平成6年に輝北町へ返還されました。

墜落時のエピソードとして、墜落により死亡した米国兵の遺体を「死者に敵味方の区別は無」と、地元リーダーの掛け声のもと住民たちは手厚く葬り、戦後遺骨は米国へと戻りました。そして当時の住民の行為に感謝し、米国は村に感謝状を贈ったとされています。このような史実を忘れてはいけない、後世に伝えようと、戦後半世紀を経て、平成6年輝北町教育委員会は、墜落現場近く（ときわ食堂横）に「B29墜落地点の碑」を建立し現在に至っています。

（輝北町文化財報告集 輝北町文化財めぐりより）



「百人一首」10月の歌紹介

列樹が比叡山のふもとを都から近江へと行く途中に詠まれたものだと言われていますが、自然がつくる造形の美しさへの驚きが表れています。

「山がはに 風のかけたる しがらみは 流れもあへぬ 紅葉なりけり」

百人一首 32番 詠み人：春道列樹

【歌の意味】山あいの谷川に、風が架け渡したなんとも美しい柵があったのだが、それは（吹き散らされたままに）流れきれずにいる紅葉であったではないか。

